

12

原子力施設の運転状況

12-03

試験研究用原子炉と研究開発段階の原子炉

12-03-01

試験研究用原子炉の事故・故障・トラブル統計

12-03-01-01

昭和55年度試験研究用原子炉における事故・故障

<概要>

「試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則」に基づき、報告がなされた故障・トラブル等の件数は7件であった。

<更新年月>

1999年08月

(本データは原則として更新対象外とします。)

<本文>

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」(以下、「原子炉等規制法」という。)の規定に基づき、昭和63年度に報告がなされた故障・トラブル等の件数は7件であった。

なお、上記の故障・トラブル等による原子炉施設の周辺環境への放射能の影響はなかった。

昭和55年度の試験研究用原子炉施設及び研究開発段階にある原子炉施設における故障・トラブル等についての概要を表1に示す。

(原子炉等規制法に基づく報告)

<関連タイトル>

原子力施設の故障・トラブル・事故の国際評価尺度 (11-01-04-01)

昭和55年度試験研究用原子炉における従事者被ばく状況 (12-03-03-02)

<参考文献>

(1) 原子力安全委員会編(1981):昭和55年度の試験研究用原子炉施設及び研究開発段階にある原子炉施設における故障・トラブル等の概要(原子炉等規制法に基づき報告があったもの)、昭和56年版原子力安全白書、362-363.

(2) 科学技術庁原子力安全局編(1981):昭和55年度の試験研究用原子炉施設及び研究開発段階にある原子炉施設における故障・トラブル等について、原子力安全委員会 月報12月号、通巻27号、56-57.

表 1 昭和55年度の試験研究用原子炉施設及び研究開発段階にある原子炉施設における故障・トラブル等についての概要

発生年月日	原子炉施設名	事 故 ・ 故 障 等 の 概 要
55. 1.15	日本原子力研究所大洗研究所材料研究炉(JMTR)	原子炉運転に先立って照射ループの予備運転を行っていたところ、炉外テストセクションNo.1頂部から冷却水が漏洩した。
55. 6.25	動力炉・核燃料開発事業団新型転換炉ふげん発電所	燃料交換中、シールプラグを引き抜く際燃料交換装置のグラブのトルクに異常が発生した。
55. 7.19	動力炉・核燃料開発事業団新型転換炉ふげん発電所	原子炉を起動させ出力上昇中、電力出力約40% 安定運転させていたところ、給水系第2B給水加熱器の水位異常（水位高高）信号によりタービントリップが発生した。
55. 7.23	動力炉・核燃料開発事業団新型転換炉ふげん発電所	原子炉起動後出力上昇中、電気出力約40%で制御棒パターン形成中に出力低下が発生した。この出力維持操作を行っていたが、プラント過渡変化状態で「蒸気ドラム水位高高」が生じタービントリップ、原子炉自動停止が発生した。なお、出力低下の原因は、駆動モータの欠相が原因とみられる制御棒の異常降下であった。
55.12. 4	動力炉・核燃料開発事業団新型転換炉ふげん発電所	計画停止後、主要配管の点検によって冷却系配管の溶接部近傍に微小な傷を発見した。
56. 2.18	動力炉・核燃料開発事業団新型転換炉ふげん発電所	冷却系配管の補修工事の一環として燃料取出し作業を実施中、シールプラグを引き抜きのため燃料交換機のグラブを上昇させたところ、グラブトルクに異常が発生した。
56. 3.25	原研東海 JRR-2	中性子計装系のメータに変動が見られたため手動停止して点検を実施したところ、円筒燃料集合体の燃料板を固定しているネジに破損が発見された。

〔出典〕原子力安全委員会編(1981)：昭和55年度の試験研究用原子炉施設及び研究開発段階にある原子炉施設における故障・トラブル等の概要（原子炉等規制法に基づき報告があったもの）、昭和56年版原子力安全白書、362-363。